

# 社会資本総合整備計画

## 大豆島地区都市再生整備計画

平成25年 3月19日

長野県 長野市

# 都市再生整備計画(第3回変更)

まめじま  
大豆島地区

ながの  
長野県 長野市

平成25年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	ながのし 長野市	地区名	まめじまきく 大豆島地区	面積	483 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度				

目標：地域の生活利便性を高める拠点形成と自然と都市的機能が調和した安全なまちづくり

- 目標1 地域の生活交流拠点を集約し、コミュニティと生活利便性の向上を目指す。
- 目標2 安心して子どもを産み育てることができる住環境の向上を目指す。
- 目標3 大規模災害時の拠点機能を整備し、住民の防災意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりを目指す。

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当地区は、JR長野駅から2.5km圏内に位置し、地区の北東約3kmには、長野市の東の玄関口となる上信越道須坂長野東インターチェンジがあり、長野市の中心市街地に直接アクセスする長野須坂インター線が接続している。また、幹線道路として県道長野管平線、同三才大豆島中御所線及び同大豆島吉田線が地区内を縦貫又は横断している。
- ・当地区の北東には長野オリンピック時にスピードスケート会場となった「エムウエーブ」、また、地区内には長野市清掃センターの余熱を利用した「サンマリーンながの」があり、スポーツレクリエーションの拠点が整備されている。
- ・当地区の幹線道路沿いは、市街地のスプロール化により住宅地等が連坦し、農地のなかに集落が点在している状況にある。
- ・現大豆島児童センターは、昭和23年に旧大豆島村役場として建設されたもので、本市の児童センターとしては最も古く、間取り等からその機能に制約がある。なお、本市の児童館・児童センターは、長野市版放課後子どもプランの実施により、放課後や週末に子どもたちが安全に過ごせる施設整備が期待されている。
- ・現大豆島公民館は、会議室等が2階に位置しているため、高齢者や障害者の利用が困難である。
- ・大豆島小学校一帯(大豆島公園を含む)は、当地区の中心に位置しており、長野市地域防災計画では、第一次避難場所に指定されているが、当地区において、災害情報の収集・伝達、被害状況の調査・報告及び災害相談窓口となる大豆島支所が避難場所から離れているため、災害時の連携が危惧されている。

### 課題

- ・生活利便性の向上や交流の活性化のため、地域拠点性を高めていく必要がある。
- ・朝夕の渋滞を回避するため、農道や生活道路への一般車両の入り込みが多く、農耕者や児童等の安全性が懸念される。
- ・現児童センターは施設の老朽化が進み、また、小学校と県道を挟んで設置されているため、児童センターに通う児童等の安全性が懸念される。
- ・ユニバーサルデザインに配慮するとともに、高齢化社会に対応した地域交流の促進に寄与する施設が不足している。

### 将来ビジョン(中長期)

- 長野市都市計画マスタープランでは、市街地の無秩序なスプロールを抑制し、計画的な市街地形成を図るとともに、地域の生活の利便性を高める拠点形成と、自然と都市的機能が調和した安全なまちづくりのため次の整備方針をあげている。
- ・犀川・千曲川などの周辺の自然環境との調和を図るとともに、公共施設を中心に広く人々が集う交流拠点を整備する。
  - ・生活道路の改善と、みどりやオープンスペースの整備による既存住宅地の住環境の向上を図る。
  - ・既存住宅地での防災能力の強化を進める。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
地域交流センターの講座受講者数	人/年度	地域交流センター(公民館)の講座受講者	地域交流センターを整備し、屋外施設との連携等、より多様なニーズに対応した学習機会を提供することによるコミュニティの向上を講座受講者数で確認する。	3,203	平成20年度	3,839	平成24年度	
子育て環境の満足度	ポイント	市民アンケートにおける「安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている」中の大豆島地区の満足度(5段階評定の平均値)	安心して子どもを産み育てることができる住環境の向上をアンケートによる満足度で確認する。	2.72	平成21年度	3.30	平成24年度	
災害(地震・風水害等)に備え対策をしている世帯数	%	地区住民に対するアンケート調査により算出	安全安心なまちづくりのため防災に関する学習会や研修会を開催し、地域住民の防災に対する自発的な高揚度や防災への取り組みの成果を災害(地震・風水害等)に備え対策をしている世帯数で確認する。	61.54	平成19年度	75	平成24年度	

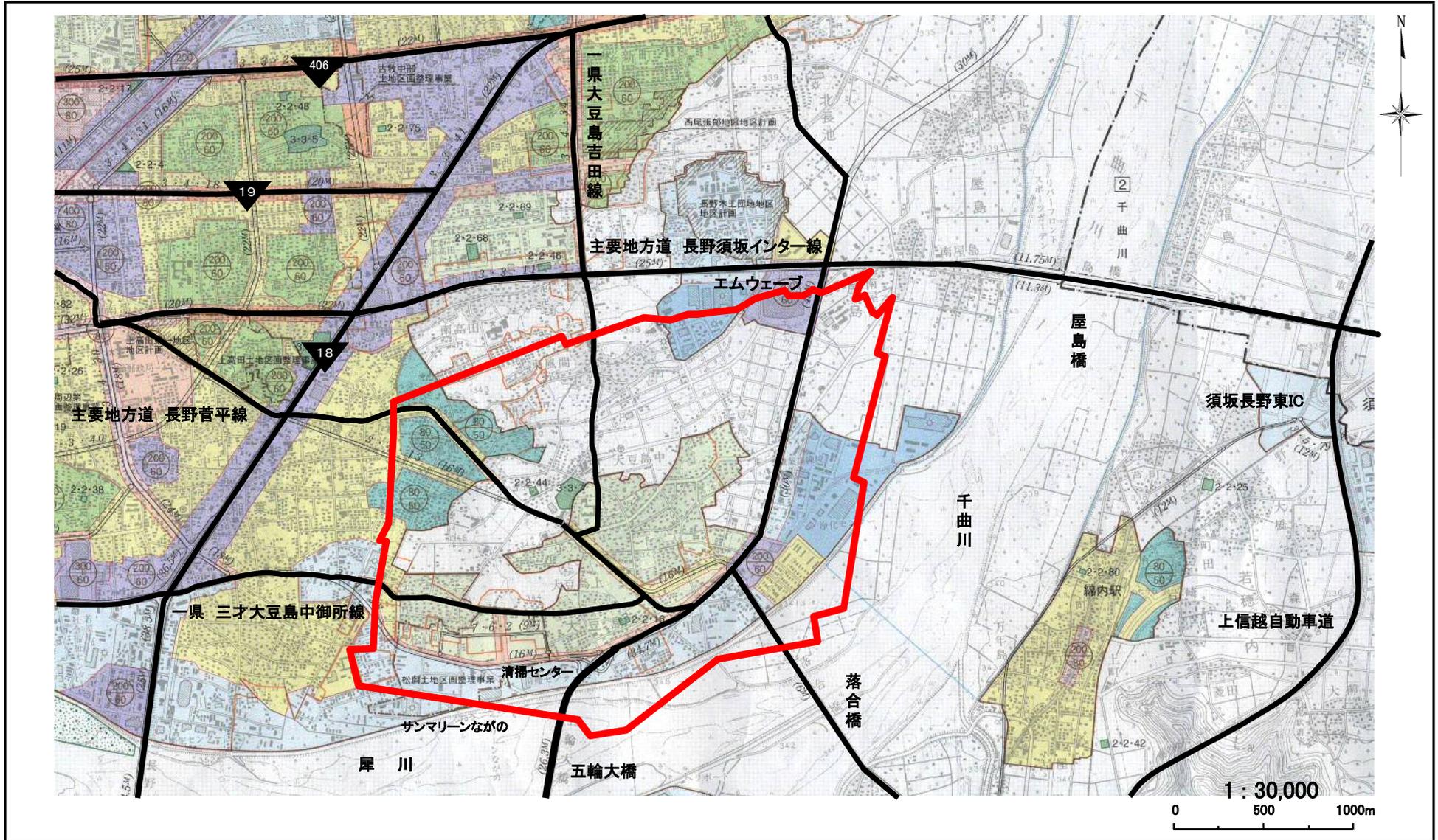
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 【地域の生活交流拠点を集約し、コミュニティと生活利便性の向上を目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設を中心に自然と調和し、広く人々が集う地域交流拠点を整備する。</li> <li>・多様なニーズに対応した生涯学習を通じ人と人とのつながりを高め、住民が主体的に講座やイベントに参画する。</li> <li>・芸術性をいかしたモニュメントを設置する事で、潤いのある豊かな交流空間作りを図る。</li> </ul>	<p>高質空間形成施設(野外彫刻ながのミュージアム)【基幹事業】 高次都市施設(大豆島総合市民センター)【基幹事業】 まちづくり活動推進事業(防災意識啓発の研修・地区防災計画策定)【提案事業】</p>
<p>整備方針2 【安心して子どもを産み育てることができる住環境の向上を目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で支える子育て・子育て環境の充実を図る。</li> <li>・施設を地域の子育てサークル等に開放し、積極的に子育て相互支援を展開する。</li> <li>・校内施設と校外施設の連携による長野市版放課後子どもプランを推進し、子どもが安心して過ごせる遊びや生活、学びや交流の場を提供する。</li> <li>・交差点改良により渋滞を解消し、生活道路の通過交通を減少させる。</li> </ul>	<p>道路事業(若里村山堤防線)【基幹事業】 高次都市施設(大豆島総合市民センター)【基幹事業】 地域創造支援事業(大豆島児童センター)【提案事業】 大豆島小学校増築工事【関連事業】</p>
<p>整備方針3 【大規模災害時の拠点機能を整備し、住民の防災意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりを目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の避難所となる一帯に公共施設と備蓄倉庫、耐震性貯水槽を設置し、災害時の拠点として整備する。</li> <li>・地区の特性を踏まえた防災意識の高揚を図り、地区防災計画を策定する。</li> </ul>	<p>高次都市施設(大豆島総合市民センター)【基幹事業】 まちづくり活動推進事業(防災意識啓発の研修・地区防災計画策定)【提案事業】 大豆島公園整備事業【関連事業】 耐震性貯水槽【関連事業】 大豆島小学校増築工事【関連事業】</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地区には、安全安心のまちづくりを進めるなかで住民による「大豆島地区安全安心隊」が結成され児童等の安全を守り、安心して学校活動、登下校ができるような活動が行われており、更に協働による安全安心なまちづくりを目指す。</li> <li>●計画期間中は、事業の進捗状況等を住民に公表する。</li> <li>●交付期間中にモニタリングを実施し、事業の進捗及び目標達成状況の確認・評価を実施する。</li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

大豆島地区(長野県長野市)	面積	483 ha	区域	大字大豆島、大字風間、大豆島西沖、松岡一丁目、松岡二丁目
---------------	----	--------	----	------------------------------



マメジマチ ク ナガノ ケンナガノ シ  
大豆島地区(長野県長野市) 整備方針概要図

目標	地域の生活の利便性を高める拠点形成と 都市機能が調和した安全なまちづくり	代表的な 指標	地域交流センターの講座受講者数 (人/年度)	3,203	(20年度)	→	3,839	(24年度)
			子育て環境の満足度 (ポイント)	2.72	(21年度)	→	3.30	(24年度)
			災害(地震・風水害)に備え対策をしている世帯数 (%)	61.54	(19年度)	→	75	(24年度)

